

飛翔77号 目次



ない活動である。

幼稚園の時

遊ぶことを通して、社会的役割を演じることの大切さやルール

メ

メ

び、しだいに社会性が形成されていく

ると、特定の友人との集団遊びを通して、「脱中心化」が促進

される。「脱中心化」とは、幼

皆さんは高校生の頃、「遊ぶ暇があつたら、勉強しなさい」と言われたのではないだろ

児の自己中心的な世界観から脱却して、客観的に物事を捉え、

他者に共感できるようになる大人としての認識様式や対人関係能力を身につ

つ

と

この過程がないと、他者と良好な関係を築くことができず、友人も作れずに社会的に孤立してしまいかねない。この影響は恋

ができていい

で、自分の都合しか考えないわがままな恋愛になってしまい、

破綻につながりやすい。このよ

うに、人が社会生活を送る上で

欠かすことのできない社会性や

対人関係能力を獲得していく上

で重要な働きをしているのが

「遊び」である。「遊び」は決

して「悪」ではなく、むしろや

らねばならないのだ。だから、

「よく遊び、よく学べ」と、率

先して「遊ぶ」ことを推奨して

いるのである。ただし、ここで

の「遊び」に、TVゲームの類

は含まれないので注意してもら

いたい。

では、大学生である皆さんた

ちにとって「遊び」とは何だろ

な遊びを勧めるつもりはない。

もっと自己の世界を広げ、ユー

モアやウィットを理解できるよ

うな「遊び」をしてもらいたい

と思う。1956年からイギリ

スで開

音楽祭を知っているだろうか。

当時のイギリスを代表する作曲

家が真剣に作曲したパロディ音

楽の祭典で、現在も世界各地で

開催されている。その代表的な

曲である「人気協奏曲」は、チャ

イコフスキーのピアノ協奏曲を

演奏しよう

に対抗するように

がグリーグのピア

奏する。そして中盤にはガー

シュインの曲

れる。その掛け合いの面白さと

音楽としての絶妙さがわかるた

めには、音楽的な知識がないと

いけない。つまり、ホフナング

の上に成り立つ文化的で知的な

「遊び」

がなければ理解できない。パロ

ディを楽しむためには、引用さ

れる作品を知らないと駄目なの

支えているのは、ある意味教養

なのである。

皆 schoolの語源

が、ラテン語のschola、ギリシャ

語のscholēであり、「暇」や「余

暇」とい

い時間」のことを指しているの

はご存じだろう。アリストテレ

スは、

名であったスパルタについて、

「スパルタの失敗は、戦争が終

わった後の平和な時間を、次に

戦争の準備のために使ったこと

である」と述べている。要は、

余暇時間（つまり、scholia）の

使い方を間違っていたと言っ

ているのだ。言い換えれば、余暇

時間（scholia）、つまり「遊

の時間の使い方が我々に問われ

ているのだ。

れで良い。本の世界に浸る者、

芸術の世界に浸る者、世界中を

等々、好きなことから「遊び」

を始めればよい。知的的好奇

もっとも旺盛な大学生の時期

は、scholiaのたくさんある時期

でもある。だからこそ、「知的世

界で遊ぶ」ことをもっと大切に

してもらいたいと思う。「勉強

ではないからこそ、面白く楽し

めるのである。ちなみに、私

大学時代、音楽ばかり聴いてい

た。しかし、残念ながら文学や

美学、歴史、社会といった世界

ではあまり遊ばなかった。だか

ら、私自身まだまだ「遊び」が

足

も私には残された時間（scholia）

が少ない。

「少年老い易く学成り難し」。

若い皆さんたちだからこそ、

scholiaを有効に使ってもらいた

いと思う。アリストテレスに笑

われないように……。